

# 世界史の授業による他者を尊重できる生徒の育成 — 歴史的事象を素材とする意見交流を通して —

いじめ・不登校班 鎌田 直史 (高等学校教諭)

## 現状と課題

1. 人間関係の形成に課題
2. 歴史的事象と現代の問題を結び付けて考察するのが苦手

## 授業の工夫

1. 意見交流を通して、他者の意見に触れ、クラスで共有する工夫
2. 歴史的事象の理解を通して現代的諸課題と結び付ける工夫

## 目指す生徒像

他者を尊重  
できる生徒

## 実践例

- 学習課題1 歴史上の迫害問題とネットいじめの共通点・類似点を探る  
学習課題2 ネットいじめを防ぐために必要な行動を考える

なぜ、  
ユダヤ人は迫害されたのか？  
(理由3) デマ・誹謗中傷  
血の中傷事件  
ユダヤ人が幼児(キリスト教徒)の血を抜いて儀式に使う



ユダヤ人への  
偏見・憎悪

迫害問題はユダヤ人以外にも  
(迫害の事例)

- ・異端裁判 (中世ヨーロッパ)
- ・魔女狩り (中世ヨーロッパ、17世紀)
- ・日系移民排斥 (1920年代アメリカ)
- ・朝鮮人虐殺 (関東大震災)

など

### 【キーワード】

- ・「異質」な存在
- ・レッテル貼り
- ・職業制限
- ・デマ・誹謗中傷
- ・偏見・憎悪
- ・強制移住
- ・略奪・虐殺

世界史ワークシート

1. 歴史上の迫害問題のキーワードを記入する。
2. 歴史上の迫害問題の事例を、キーワード・類似点で記入する。
3. ネットいじめの事例を、キーワード・類似点で記入する。
4. 両者の共通点・類似点を記入する。
5. 両者の共通点・類似点を基に、現代の問題を考察する。
6. 両者の共通点・類似点を基に、現代の問題を考察する。

ユダヤ人は異教徒で「異質」  
な存在として見られたんだね。

歴史上の迫害問題のように  
一方的に偏見をもって、  
小集団(個人)を排除・攻撃  
する行為を考えてみよう。



デマ・誹謗中傷で偏見が  
広がったんだ。  
強制的に職業も住居も決  
められているよ。

③歴史上の迫害問題と  
類似した現代の問題  
を考える

学校では  
いじめかな

①歴史上の迫害問題の概要をスライド  
を通して学習する

②ワークシートに気付いたこと、  
キーワードなどを記入

④ネットいじめの記事を読み、歴史上の  
迫害問題との共通点・類似点を探る

⑦クラスで発表し、意見を共有

⑥グループの意見をまとめる

⑤グループで意見交流



自分たちのグループには、あの意見  
は出なかったね。なるほど!



偏見的な目で見ないで個性を尊重  
することが大切だ!



誹謗中傷とネットの悪口が共通  
しているよ。

強制的な移住と  
LINEのグループ  
を強制的に退会  
させられる点が  
共通しているね。

## 成果

- 歴史的事象といじめ問題の比較・検討から、他者を尊重し、いじめを許さない態度を養うことができた
- 意見交流により、自分の意見を伝えるとともに他者の意見も取り入れ、自分の考えを深めることができた
- グループの意見発表によって、いじめ問題を防ぐために必要な行動をクラス内で共有できた

## 課題

- 歴史的事象の理解から現代社会の諸課題を考察する授業を効果的に行うためには、系統立てた指導を年間指導計画に位置付ける必要がある
- 生徒自身の思考から「いじめや不登校」の防止につながる指導方法を構築することが課題である